
目次

序 4

第1章 さまざまな「キャラ」

キャラ論の前提……………10
定延利之

日本語コーパスにおける「キャラ（クター）」……………46
イレーナ・スルダノヴィッチ

第2章 物語世界のキャラ論

キャラクターとフィクション……………64
宮崎駿監督のアニメ作品，村上春樹の小説をケーススタディとして
金水敏

「属性表現」再考……………84
「複合性」「非現実性」「知識の共有」から考える
西田隆政

言語のキャラクター化 遊戯的翻訳と引用……………98
野澤俊介

第3章 現実世界のキャラ論

日本語社会における「キャラ」	120
定延利之	

ブルデューの「ハビトゥス」と定延の「キャラ」との出会い	134
アンドレイ・ベケシュ	

若者たちのキャラ化のその後	154
瀬沼文彰	

直接引用とキャラ	180
金田純平	

第4章 キャラ論の応用

方言における自称詞・自称詞系文末詞の用法	198
キャラ助詞とのかかわり	
友定賢治	

日本語教育とキャラ	224
宿利由希子	

索引 242

編者・執筆者紹介 252

序

今世紀初頭あるいは20世紀末あたりから、日本のさまざまな分野でさかんに取り上げられだしたキーワードに、「キャラ」もしくは「キャラクタ」【注1】というものがある。もっとも、これらの語の持つ意味合いは分野によって、また論者によって異なり、いま「「キャラ」もしくは「キャラクタ」と両語を併記したのも、論者によっては「キャラ」が「キャラクタ」の略語ではなく、別の用語として定義されているために他ならない。しかしながら、それらの「キャラ」論あるいは「キャラクタ」論の間にゆるやかなつながりを見て取り、たとえば「人物とは何か？ 人物が状況に応じてどこまで変われば、もはや「同じ人物ではない」ことになるのか？」といった、大まかな共通テーマを見出すことは決して不可能ではない。このような大局的な視野に立った時、近年の日本は、アイデンティティの確立より「キャラ」の使い分けが大事な時代（岡本2010）、社会の全般に「キャラ」の分析が必要かつ可能な時代（相原2007・暮沢2010: 27-28）とされるように、「キャラ（クタ）」論の台頭が無視できない状況となっている。

その一方で、編者が漠然と感じ続けてきたのは、こうした「キャラ（クタ）」論の波を阻む二つの「壁」があるということである。

「壁」の一つは、日本と海外の間に立ちはだかっている。「キャラ（クタ）」論の隆盛はあくまで日本内にとどまり、海外に広まっていく気配は（少なくとも編者には）見えない【注2】。

もう一つの「壁」は、言語学をぐるりと取り囲んでいる。言語学は、人間を視野に入れるはずの語用論においても、「キャラ（クタ）」論に関して概して消極的で、他分野の「キャラ（クタ）」論とのつながりも不明である。

言語と「キャラ（クタ）」の関係を観察し、英語版・中国語版も含め

てインターネット上で公開してきた編者の活動は【注3】、いま振り返れば、これらの「壁」の突破に向けられたものと言えるかもしれない。活動十余年目にして【注4】、ようやく二つの壁は音を立てて崩壊、とまでは行かないが、小さなひび割れぐらひは起こし始めたようである。現在、この「キャラ（クタ）」は国際学会でのパネルのテーマとなり、一部の欧米思想との親和性が論じられるようになってきている。また、社会学（例：土井 2009）で論じられる「キャラ」が、「伊藤（2005）の「キャラ」（Kyara）を援用したもの」という論者たちの申し立てとは裏腹に【注5】、編者の「キャラ（クタ）」に意外に近いこともわかってきた。

この論文集は、以上の動きを契機として、日本国内外の最近の研究成果（主に以下 (1) (2) (3)）をまとめ、新たな展開と、新たな研究世代を呼び込もうとするものである。

- (1) 日本語文法学会パネルセッション「日本語とキャラ」（2015年11月15日、学習院女子大学）
- (2) 日本語学会ワークショップ「キャラ・役割語をめぐる問題とその検討」（2016年10月30日、山形大学）
- (3) 国際語用論学会第15回大会パネルセッション Japanese-born “characters” meet European and American insights.（2017年7月19日、ベルファスト）

各論文の紹介は、冒頭で述べたように「キャラ」「キャラクタ」に関する用語法が少々込み入っているため、変則的な形になるが、それを整理した上でおこないたい。

収録論文は四つの章にまとめられている。第1章「さまざまな「キャラ」」には、「キャラ」「キャラクタ」の用語法に関する二つの論文が収められており、論文の紹介は、そのうち第1論文（拙論）の中でおこなっている（より詳細な用語解説は定延（近刊）を参照されたい）。第2章「物語世界のキャラ論」には、創作物における或る種の「キャラ」を扱った

索引

■人名等

東浩紀 85
庵野秀明 80
伊藤剛 5, 13, 14, 124
オースティン 135
カイ日本語スクール 237
国際交流基金 234, 237
ゴッフマン 98, 99, 100, 114, 115, 116
スタジオジブリ 70
斎藤環 40, 165
土井隆義 5, 14, 156, 158, 164, 167
バフチン 100, 108
原田曜平 159, 162
藤原与一 37, 199
ブルデュー 30, 135, 136, 142
ヴォグラール 66
みうらじゅん 11
宮崎駿 70
村上春樹 64, 72, 86

■作品名

『1Q84』 24, 78, 79, 86, 89, 90, 92
『海辺のカフカ』 66, 72, 73, 74, 76, 78, 80, 81
『風の谷のナウシカ』 70, 71
『今日の5の2』 88
『新世紀エヴァンゲリオン』 80
『涼宮ハルヒの憂鬱』 91, 92
『1973年のピンボール』 79
『千と千尋の神隠し』 70, 71
『罪と罰』 228
『魔法先生ネギま!』 86
『りはめより100倍恐ろしい』 163, 165

■事項 a - z

animator (発話体) 100
author (発話の作者) 100
BCCWJ 47
characters 10, 11
JpTenTen 47, 59
natural figure 100
principal (発話の責任者) 100
Sketch Engine 47, 59
SNS 160, 168, 176
Twitter 160

■事項 あ - ん

===あ・ア===
アーキタイプ 69
アーキタイプと言語 70, 71, 72, 80
アーニャ 86, 87
アイデンティティ 37, 147, 169, 198, 199, 221
アイデンティティ (一貫した自己) 157
アイデンティティ (キャラ) 218
アイデンティティ (同一性) 13, 114
アカウント 160
明るさの強制 174
悪玉 227, 229
遊びの場 37
あだ名 163
アニメ 85, 88
アニメーション 98
アニメーション作品 70
《アニメーションの関係性の設定》 99
アニメーター 100
アニメート (animate) 99
「アニメ・マンガの日本語」 234, 235
綾波レイ 80, 95
安定性 141, 144

異化作用 181
異化された言語 106
意識高い系 106, 109
いじめ 175
いじられキャラ 164, 175
いじり 175
いじりキャラ 164
位相 231, 234
位相語 225, 232, 234, 235, 236, 237
位相差 181
一語文 216
一人称 87
一人称代名詞 219
イデオロギー 164
意図 122, 128, 137, 181
意図的 32, 142, 233
意図明示的コミュニケーション 128
意図明示的推論コミュニケーション
(ostensive-inferential communication)
122
《命》(anima) 99
居場所 156, 167
妹属性 86
陰キャ 161
陰キャラ 161, 174
インタビュー調査 32
引用 107
引用形式 (citation form) 103
引用・再文脈化 112
引用者 35
引用と翻訳の実践 98
引用元の話者の人物像 183
韻律 181
受け手の自己同一化 68
ウェブコーパス 47, 59
宇宙人語 232
英語 215
演技 155, 156, 157, 182
演技性 158, 182
演じる 32, 173
演じ分け 181
大阪弁キャラクター 75
大島さん 66
『幼なじみ』 26
幼馴染属性 86
オタク 161, 162
オタク系 91, 92, 93, 94
オチ 184
男ことば 66
「オネエ言葉」 234
オノマトペ 227
「面白い話」 34
お笑い 174
お笑い芸人 154, 166, 170
音声合成 113, 117

==か・力==
会話参与者 182
係助詞 200
格 26, 66
学習者の動機づけ 234
学習動機 237
影 67, 69
過去の経験 137
硬い声 184
かぶらない 154
カミングアウト 172, 173
変わらない外見 14
関係性 168, 174
関係性理論 122
韓国語社会 34
神崎蘭子 102
関心 182
間接引用 36

-
- 甲高い声 192, 193, 195
間ディスコース性 106
間投助詞 217
感応力 41
聞き手 182, 233
記述言語学 103
記述言語学的／文献学的想像力 102
起承転結 67
擬人化キャラ 117
擬人化キャラクター 113
機能 122
機能主義 135
機能主義的 128
キャラ 4, 10, 12, 13, 58, 106, 115, 124, 126,
127, 141, 154, 156, 157, 172, 174, 176,
182, 194, 195, 221, 224, 227, 228, 233
キャラ (Kyara) 4, 13, 14, 28, 124
キャラ化 32, 33, 155, 166, 168, 169, 170,
171, 172, 173, 175
キャラ化運動 171
キャラ化した人間関係 161
キャラ (クタ) 10, 11, 13, 29, 32, 124, 125,
127, 128, 129, 130, 131, 136, 140
キャラクタ 4, 10, 124, 140, 142, 144, 146,
147, 148, 149, 227, 237
キャラクタ (登場人物) 14
キャラクター 64, 68, 81, 99, 115, 116
キャラクター化 98, 99, 103, 104, 106, 113,
114, 115
キャラクター化された言語 115
キャラクター化の理論的展開 101
キャラクター言語 14, 15, 23, 64, 66, 73,
99, 143
「キャラクター」という概念 98
キャラクターの位置づけ 66
キャラクターの作り手 64
キャラクターの分類 64
キャラクターの読み込みのリテラシー
171
キャラクターボット 112
キャラクターを属性で把握する 94
キャラクタという概念 40
キャラクタ動作の表現 16, 39, 225, 226,
228, 230, 231, 236
キャラクタとことばの結びつき 35
キャラクタのラベル 16, 225
キャラクタ (肘関節) 40
「キャラクタ」論 4
「キャラ (クタ)」論 4
キャラ言語 114, 115
キャラ語尾 36
キャラコピュラ 217
キャラ助詞 36, 198, 199, 200, 201, 202,
216, 217, 218, 220
キャラ的な人間関係 169, 171
キャラとしての一貫性 88
キャラの数 159, 160
キャラの鑑賞者 34
キャラの実践者 34
キャラの実態 157
キャラの使い分け 173
キャラの付与 155
「キャラ」の分布 47
キャラの変化 34
キャラへの傾斜 157
キャラリテラシー 34, 170, 175
「キャラ」論 4
キャラを演じる 32, 159, 161, 169, 177
キャラを演じ分ける 160
キャラを自覚 161
キャラを表現するタイプ 189
恐縮した人 188
教条的意義 101
儀礼的仮面 115
-

-
- 「空気を読む」 158
唇のゆがめ 35
経済資本 138
芸人 154, 157, 170, 176, 180
ゲーム 85
下品な善玉 227, 229
権威的起点 110
《言語》 99
言語・記号観 98
言語共同体 65
言語研究 29, 134
言語コミュニケーション 123
言語資本 139
言語社会 20, 94
言語社会における共通理解の成立 94
言語的行為 148
言語的媒介 99, 114, 115, 116
言語哲学 135
言語と話者の結びつき 65
言語の再帰性 114
言語の再帰的行為 98
言語のキャラクター化 27, 113
言語変異 65
言語名 (glottonym) 102, 106
言語理論 134
言語レジスター 107
現実社会 65
現実世界 21, 25
現実の世界 88
「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)」 46
「現代日本語大規模ウェブコーパス (JpTenTen)」 46
現代日本語の世界 25
現代若者コミュニケーション 33
「原典」 104, 110
言動 22, 29
権力関係 163, 164
行為者 (actor) 135, 137, 138, 144
行為者の合理性 142
構成 23
構造化 137, 138
構造主義 135
行動の理論 136, 146
声の甲高さ 35
コーパス 21, 103
コーパス辞書学・言語学 46
呼称 163
個人 30
「個人」と「社会」 30
個性 155, 156, 162
孤独さ 166, 173
言葉とキャラクターのミスマッチ 233
言葉の遊び 202
ことばの教育 40
子供っぽいキャラ 194
子供っぽさ 35
語尾 164
コビペ 115
コミュニケーション 78, 120, 122, 149, 154, 156, 157, 160, 164, 168, 169, 170, 171, 173, 181, 233, 235
コミュニケーション意図 128
コミュニケーション能力 165, 167
コミュニケーション場面 227
コミュニケーション分析 99
コミュニケーション網 155
コミュニケーションや言語の研究 124, 128
コミユカ 165, 166
誤用 230, 233
語用的条件と帰結 98
語用論 29, 122
語用論研究 98
-

語録 27, 98, 101, 102, 115, 116
語録の集積 102, 103, 106, 110, 114
コロケーション 46, 48, 59
コロケーションリスト 61
コントロール 120

=== さ・サ ===
再構築 115
再文脈化 115
再文脈化過程 110
産出フォーマット 99
参与観察 154, 157
自我 147
思考キャラクタ 17, 36, 226
地声 184
市場 139, 148
自称詞 38, 200, 201, 202, 203, 204, 215, 218, 220, 231
自称詞系文末詞 199, 200, 201, 207, 210, 216, 217, 218, 219, 221
自称詞由来 219, 220
システム 166
自然会話 180
時代 65
実践 137, 138, 139, 145, 147
視点人物 92
地の文 181, 187, 192, 193
ジブリアニメ 64
自分探し 176
資本 138, 139, 148
島宇宙 34
島宇宙化 155
社会 30
社会技術的アフォーダンス 110
社会言語学 98
社会現象 11
社会資本 139
社会的位相 231
社会的関係性 78
社会的・文化的グループ 23, 65
社会的文脈 30, 138
社会的要因 135
社会文化圏 98
終助詞 37, 186, 198, 199, 200, 201, 210, 211, 217, 218, 219
集団語 116
集団主義 171
柔軟性 129, 130
主人公 67, 68
準主人公 68
商業的流通 24
状況に基づく自己 41
状況に基づいた自己 (a situation based self) 144
冗談の世界 169, 172
象徴資本 (symbolic capital) 139, 148, 150
承認 157
上品な善玉 227, 229
使用文脈 98
情報意図 (informative intention) 122, 128
女王様 233
職業・階層 65
女性キャラクター 74
「女性言葉」 232, 234
女性文末詞 234, 235
人格 10, 29, 32, 46, 125, 126, 127, 146, 147, 148
人格 (肩関節) 40
人格の意図的偽装 33
人格の分裂 (肩関節の脱臼) 40
箴言 101, 102
身体性 135, 144
身体的コミュニケーション 123

身体と社会現象との関わり 135
身体論的 29
人物像 19, 22, 29, 40, 189
人物像 (キャラ) 180
人物像とことばづかひの関連性 94
人物像の類型 86
人物のイメージ 40
人物評 121
親密語 182
遂行分析 (performative analysis) 38
推論コミュニケーション 128
スクールカースト 162, 163, 164, 165, 166,
174
スタイル 29, 32, 46, 120, 125, 126, 127,
146, 147, 148, 227
スタイルシフト 41
スタイル (手首の関節) 40
スタイル変換 40
ステイタス 162
ステレオタイプ 75, 155, 156, 183, 188,
189, 234
ステレオタイプ化されたキャラ 194
スピーチ・アクタント 113
スマートフォン 168
スマートフォンの普及 160
スラング 105
スラング的表現 102
性 26, 66
性格 10, 161
性格的な属性 95
性格特性 25
生活語 202
性差 65, 231
生産性 231
声質の変化 187
声帯模写 115
静的な人間観 129, 130, 131
静的な人間像 128
声門開放率 184, 186
設定 (configurations) 100
先行発話 182
前接母音 209
全体的視点 (totalisation) 135
専門語 11
前理論的 (pretheoretical) 概念 140
相互作用 143, 144
相互的關係 145
創作的 186, 191, 194
創造性 189
ソーシャル・ダイクシス 181, 182
属性項目 26
属性表現 14, 15, 19, 20, 24, 25, 26, 27, 30,
33, 84, 87, 89, 94
存在論的・認識論的ステータス 101

== = た・タ = ==
体験談 180
大衆文化 140
対称詞 203, 207, 218, 219, 221
対称詞的用法 204
対称詞由来 221
タイプ 106, 115
タグ 113
他者 69, 156
他称詞 204
他性・異化 101
楽しさ 169, 173
タブー 12, 34, 41, 130
田村カフカ 73
男性キャラクター 74
談話 181
地域 65
知識の共有 86, 89, 93, 94
知識不足 230, 231, 236

中国語 215
中二病 (厨二病) 104, 105
中二病キャラ 106
中二病言語 28, 104, 106, 110, 115
中二病全開な口調 102, 104
中年女性 186
中年男性 187, 188
聴覚印象 183
超自然的 79
調節器 127, 131
直接引用 35, 36, 180, 181, 182, 183, 187,
189, 191, 193, 194
ツイッター 112
ツール 156
使う 122
使い分ける 122
ツンデレ 26, 84
ツンデレキャラクター 85
ツンデレ属性 86
ツンデレ表現 84
丁寧語 182
敵対者 69
展開 23
典型的な役割語 69, 75
伝達意図 (communicative intention) 122
伝統的 148
伝統的な言語哲学 29, 30
伝統的な語用論 127, 128
同一性 13
「等価」形式 103, 109
道具 122
登場人物 14, 23, 28, 64, 65, 67, 124, 180,
181
登場人物 (dramatis personae) 10, 46,
140
倒置 202
倒置文 202, 217
同調圧力 171
同調者 67, 69
同調的態度 182
動的 141
特殊表現 234
特定の人物像 19
年 26, 66
『ドジっ子』 26
ドジっ子属性 86
友だち探し 176
トリックスター 67, 69
吐露 204, 218

== = な ・ ナ = = =
内言 17, 226
ナカタさん 66, 76, 77, 78
長門有希 91, 92, 95
なりすまし 100
肉体化した自我 148
日常語「キャラ」 32
日本語オンラインコミュニケーション
98, 113
日本語学習者 229, 232, 237
日本語教育 38, 224, 225, 226, 231, 234,
236, 237
日本語教育現場 236
日本語教材 228, 229, 234, 235, 236
日本語圏オンライン文化 101
日本語コーパス 46
日本語社会 10, 11, 20, 34, 41, 89, 93
日本語授業 234
日本語諸方言 201
日本語能力試験 230
日本語文脈 98
日本語母語話者 228, 232
日本語翻訳ツール 28
人間以外 65

-
- 人間関係 157, 158, 166, 168, 169
人間の柔軟性 128
人間の動的性質 128
人間の不変性 128, 130
人称詞 206
ネアカ 161
ネクラ 161
ネタ 161, 169, 172
ネット空間 161
年齢・世代 65
能 99
ノムリッシュ 28, 110, 113, 115
- == = は・ハ = ==
ヴァーチャル 88
ヴァーチャル性 225
はたらき 122
破綻キャラ 88
発話 122, 181
発話観 29
発話キャラクタ 16, 35, 65, 226, 231, 232,
233, 234, 235, 236, 237
発話形式 35
発話行為 103, 115, 135
発話行為理論 135
発話体 (アニメーター) 103, 115
発話の形式 35
発話の再現 186
発話の内容 35
発話モデル 37
話し方の類型 68
話し言葉 140
話し手 35, 66, 144, 181, 233
話し手中心性 (speaker-centricity) 38
話し手の態度 37
ハビトゥス 30, 32, 135, 136, 137, 138, 139,
142, 144, 146, 147, 148, 149
- バラエティ番組 157
バラ言語 120
ヴァリエーション 71
パリピ 161
非意図的 32
ヒーローの旅 (Hero's Journey) 23, 66,
67, 68, 73
被引用者のキャラ 35
非現実 (irrealis) 114
非現実性 87
非自己 (not-self) 100
非自己の設定 104, 105, 106, 109, 113, 114,
115
非自然的意味 (non-natural meaning)
122, 128
ビジネス日本語 28, 107
ビジネスッシュ 28, 106, 107, 110, 112, 115
ビジネスッシュ翻訳 108
非人間化 113
非標準語的ハイブリッド 109
表現意図 181
表現キャラクタ 16, 226, 228, 230, 231,
236
描画パターン 124
描写パターン 46
標準 148
標準語 66, 69, 70
非リア充 161
品 26, 39, 66
ファン 85
フィールド (champ) 138, 139
フィギュア (figure) 27, 100, 116
「フィギュア」概念 98, 99
フィギュア (=キャラクター) 100
フィクション 64, 65, 81, 227
フィクションの構造 66
フィクションの作り手 64
-

フィラー 38
ふかえり 79, 80, 89, 90, 92, 95
不可変性 141
複合性 25, 26, 86, 87
複合属性 86
複数アカウント 160
複数の自己 173
複数の自己の使い分け 177
福本語録 116
侮蔑表現 182
フレーム分析 99
文化資本 138
文構造 219
文構造モデル 37
文構造論 201, 202, 218
文の「興行き」 37
文法パターン 46, 48, 59
文末訴え音 220
文末形式 231
文末詞 37, 199, 200, 201, 218, 221
文末詞以前 220
文末表現 231
文楽 99
《別の誰か／何か》 101
弁証法的関係 138
変貌者 67, 69
便利さ 168
方言 36, 69, 199, 200, 201, 202, 207, 218
方言キャラクター 75
方言研究 219
方言自称詞 216
方言性 70
方言ドラマ 69
ボクっ娘 (ボク少女) 85, 87
母語話者 236, 237
ぼっち 161, 167

===ま・マ===
マーケティング 159
マジな世界 172
マンガ 13, 14, 85, 88
マンガ世界 14
見たい 161
無意識的關係 139
無口系 91
無口系の属性 93
村意識 171
村人 176
メタ言説 110
メンター 67, 69
【名詞】 + キャラ 61
メガネ属性 86
萌え要素 85, 94
目的論 123
目的論的 128, 135, 142
目的論的な発話観 29
物語世界 14, 21, 22
物語における機能 68
物語の構造 64
モノマネ 100, 115, 190
模倣対象 157

===や・ヤ===
役 155
役柄 155
役割 155, 156
役割語 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 30, 64, 65,
73, 94, 140, 143, 182, 189, 195, 201, 224,
225, 226, 231, 232, 233, 234, 235, 236,
237
役割語 (狭義) 19, 20, 23, 24, 27
役割語 (広義) 20, 26, 39
役割語セオリー 69
役割語度 66, 69, 70

役割語と発話キャラクターの結びつき 231,
232, 236
役割分担・分業 155
「優しい関係」 158
揶揄 107, 109, 112, 183, 189, 191, 192, 194
揶揄の現れ 35
ヤンキー 165
ヤンキー性 166
ヤンキー的 175
ヤンキー文化 163, 165
ヤンキー文化圏 166
遊戯性 104, 106
遊戯的展開 107
遊戯的な再文脈化 101
遊戯的文化 98
遊戯的分析 104
遊戯的翻訳 109
遊戯的メタ語用的集積 116
遊戯的類推 103
ユーモア 172, 176
陽キャ 161
陽キャラ 161, 174
呼びかけ 164, 216
呼びかけ性 204, 220

===ら・ラ===

ライトノベル作品 93
落語 180
楽さ 168, 173
ラベルづけられたキャラクター 16, 225
蘭子語 27, 102, 104, 110, 115
リア充 161
リアルの世界 88
りきみ声 187
流行語 11
臨場感 181
類型化したキャラクター 93

ルー語 115, 116
例文 48
レジスター 109
レットル 156, 162, 166, 167, 174
レンマ的引用形式 104
老人 184
老人キャラ 186
ロールモデル 166, 170
ロシア語母語話者 228

===わ・ワ===

若者コミュニケーション事情 32
話芸 180
話者の属性 181
「わたしのちょっと面白い話」 34
「わたしのちょっと面白い話コンテスト」
180, 182
笑い 154, 156, 169, 172, 174, 176, 177, 226,
227
笑い方 228
笑い手 227, 228
笑いを作る 170
